

今年度の入学者選考結果は下記の通りとなりました。

**概況**

募集定員	20
志願者数	38
合格者数	32
志願倍率	1.9
合格者平均点 (5教科250点満点)	172.4
受検者平均点 (5教科250点満点)	165.5

※志願者数に青翔開智中学校からの内部進学者は含みません。

※合格者平均点・受検者平均点は令和4年1月21日（金）実施の「学力検査」結果に基づく数値です。

実際の合否は、学力検査・面接検査（個人面接・書類審査 [資格・検定取得者優遇]）を合わせた総合判定です。

**学力検査 詳細**

科目／配点	国語／50	数学／50	社会／50	英語／50	理科／50	合計／250
受検者最高点	43	44	46	46	47	203
受検者最低点	16	7	18	17	20	114
受検者平均点	34.2	22.8	38.1	33.4	37.0	165.5

※上記は令和4年1月21日（金）実施の「学力検査」結果に基づく数値です。

**国 語**

国語の入試問題は、【問題1】から【問題5】までの大問5つで構成されています。【問題1】では口語文法などの国語の知識に関する問題、【問題2】【問題3】【問題4】ではそれぞれ文学的文章・論理的文章・古典的文章の読み取りに関する問題を出題しました。記述形式の問題では、問題文をよく読み、何が問われているかを正確に理解するように心がけてください。【問題5】では複数のグラフを読み解き、それを踏まえて意見を書く作文形式の問題を出題しました。様々な範囲から出題されるので、中学校で勉強した範囲を漏れなく復習しましょう。

**数 学**

構成は5題で、昨年度に比べると一部大問では難度が高くなりました。【問題1】は基礎計算に加えて、数字や図形の意味を理解しているかを問う形となりました。また、確率の問題では昨年とは異なり、会話形式で、数学力の他にも読解力がカギとなる問いでした。【問題5】は、発展的な内容ではありますが、問題文中に計算方法の記載があり、文章を正しく読み、数式に表す力があれば答えを求めることができます。基礎の理解を徹底した上で、初見の問題に取り組み、考える訓練を積んでみてください。

## 社 会

地理・歴史・公民の全分野からの出題となります。説明問題が5問出題され、用語の意味だけでなく、理由や原因、その関連事項などを追う学びが必要となります。【問題4】では「SDGs」について、なぜ持続可能な開発という言葉がキーワードとなったのかを問いました。全体を通して「大きな視点・流れ」、そして「なぜ」と常に問い続けて学習することが大切です。

## 英 語

全6題で構成し、基本的な文法知識・語彙力・読解力を問う内容を出題しました。長文読解の問題は例年通り3問出題しています。なお【問題6】は昨年度から与えられたイラストに関して自由に英作文を作る問題にしています。描かれている人や物の説明だけでなく、その場面に至るまでの説明でも、その後の説明でも構いません。限られた文字数に収まり、かつ文法やスペリングのミスをできる限り避けて表現しましょう。【問題6】を通して答えがひとつとは限らないことに対して自分なりの答えを見つけ出す本校の特色を意識して欲しいと考えています。

## 理 科

全8題で観察実験を中心とした内容を出題しました。高等学校では、緻密な定量実験に取り組む機会が多くなるため、それに対応できる資質を見る問題を設定しました。【問題8】では日本のエネルギー供給量を題材に、多角的な視点から物事をとらえる能力を問いました。これからの人生で新しい何かをつくる時、今ある何かを変えようとする時、複数の視点から利点・欠点をとらえてよりよい社会の実現に寄与できる人材であってほしいと考えています。